

シユムペーター 中山伊知郎 翻譯 A5四五〇頁 東畑精一 監修 豫價六〇〇圓

十大經濟學者

過去一世紀の間に經濟思想の形成に最も影響を與えた人々、即ち

マルクス(中山・東畑) ワルラス(安井琢麿)
 メンガー(安井琢麿) マーシャル(山田雄三)
 バレート(吉谷 弘) ボエーム・(東畑精一)
 タウシツヒ(都留重人) ファイツンジャー(久武雅志)
 ミツチエル(高橋長太郎) ケインズ(鹽野谷九十九)
 の十人の經濟學者の學說の生成發展を傳記的に敘述したものであるが、これらの學說の現在の意義に對して著者一流の鋭利な批判と適切な評價とを加え、それぞれの學說の古典的意義を浮彫しているので、著者の主著「本質」「發展」「學說史」と共にシユムペーターの全體系を窺知するにたる主要な文獻である。なおこれらの學者はマルクスを除いては何れも著者自身と直接の交友關係をもっていたため、傳記的な讀物としても極めて興味深い。翻譯はそれぞれの専門に應じ現在動員しうる最適の翻譯者陣を構成し、難解と稱せられる原文の譯出に完璧を期している。

東京京橋局區内
 振替東京一六番
日本評論社

立教經濟學研究

第五卷 第一號
 昭和二十六年七月

目次

論文

封建的大土地所有の分配……………松田智雄
 — 西南ドイツ・グレントヘルンシャフト —

いわゆる『勞働配分』……………山本二三丸
 — 決定の法則』について —

— 價值法則論を中心として —

日本民法典論争の社會……………宮川 澄
 經濟的基礎について……………三宅義夫

金屬鑄貨論……………
 — 價格の度量標準につての覺書 —

資料

金本位制の採用……………藤田武夫
 一八六〇—一九〇年における……………

アメリカの勞働者階級の状態……………神野璋一郎

定價 一三〇圓
 送料 一六圓

昭和二十七年一月二十五日印刷
 昭和二十七年二月一日發行

立教經濟學研究 第五卷
 第二號

編集兼 代表者 河西太一郎
 發行者……………

印刷所 弘濟印刷株式會社
 東京都台東區山下町二番地

發行所 立教大學經濟學研究會
 東京都豊島區池袋三丁目

電話 大塚(86)三一二一(10)
 振替口座東京三三六四〇番

定價 130圓 (送料 16圓)